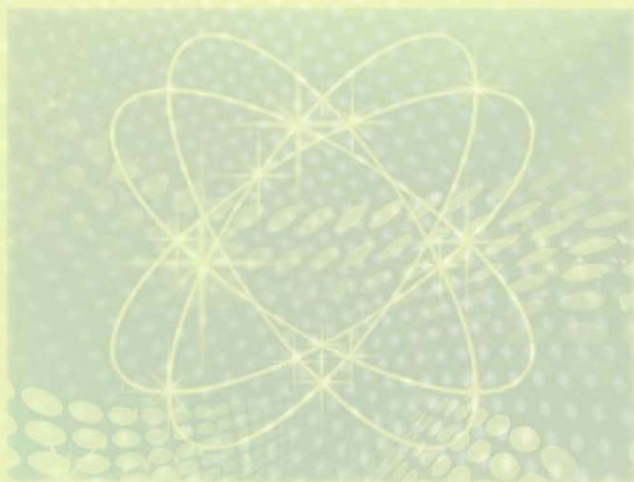
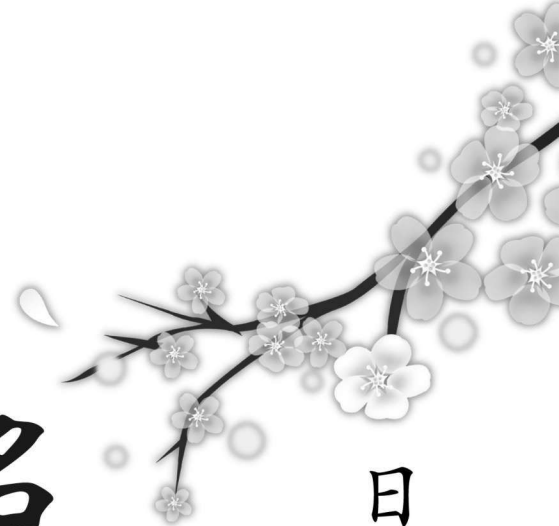


日本近现代女性文学名篇解析

林敏 主编



四川文艺出版社



日本近现代女性文学

名篇解析

主编／林敏

四川出版集团
四川文艺出版社

主 编
林 敏

编 者
林 敏 向 菲 翦 岳 林
刘 倩 陈 小 琴 李 藻

Preface

日本女性文学在平安时期曾占据举足轻重的地位，堪称日本古典文学双壁的《源氏物语》与《枕草子》都是出自平安时期的女性作家之手。然而，从中世纪至江户时代，女性文学光彩不再，罕有名作问世。1868年明治维新以后，女性文学开始复苏，并迅速发展，迎来了日本文学史上继平安时代之后的第二次女性文学高潮。

众所周知，在明治维新后的文明开化浪潮中，西方的自由、民主、平等的精神在日本迅速传播，给日本文学界带来了巨大的冲击，同时也唤醒了一批知识女性的自我觉醒与解放意识。她们试图通过文学创作来诉说女性内心的渴求，并抨击荼毒女性几百年的封建思想，争取女性的独立与自主地位，日本近代女性文学正是在西方启蒙思想的催生之下形成的。由于女性的生活体验、社会地位、知识视野、对事物的感知等与男性迥然有异，从而导致女性文学与男性文学在文学表达以及思想诉求上的差异，正是这种差异的出现为我们的文学研究开启了另一扇窗口。

女性文学研究已成为当今世界文学研究的一大潮流。女性文学对人性的审慎描写、对人生价值的细腻探求、对女性生命体验的深层剖析等所产生的文学价值、社会价值均无可替代。本书从日本近现代文学史上具有代表性意义的女性作家樋口一叶、林芙美子、宫本百合子、冈本可能子、圆地文子的作品入手，对其文学源流的形成，文学作品的艺术性、思想性进行研究。这些作家

中，有始终将目光投向下层民众，毕生致力于女性解放事业的；有不论时事，一心专注于艺术创作，对人的生命寄予无限憧憬的；有以朴实的笔调道尽女性生活辛酸的；也有描写在极端的生活困境中顽强生存、维系着女性高贵的灵魂的。以上作家的艺术性、思想性虽各有千秋，却无不彰显着个性与光芒，张扬着女性强烈的生命意识和主体意识。从她们的作品中，我们仿佛又看到了平安时期女性文学的耀眼光芒。然而，时代变迁的烙印也必将投影在文学作品中，近现代女性作家笔端的主人公多是生活在同一时代的女性，她们承载着女性生存的所有现实。本书选取的五部作品，展示了五位女主人公不同的命运以及五位作者对时代不同的体验与感知。无论是从这些女性作家身上，还是从她们作品中的女性人物身上，我们都可以窥见到近现代女性自我觉醒的曲折历程，她们的思想变迁也构成了日本女性精神史的一部分。

有别于男性作家的文学，女性作家具具有其独特的审美情趣与价值走向，她们的作品多描写日本社会的女性，因此，研究日本女性文学也可以为我们提供一个全新的审视日本文学史的独特视角。本书遴选了日本近现代最具代表性的五位女性作家樋口一叶、林芙美子、宫本百合子、冈本可能子、圆地文子的代表作品，首先在对文本进行全面、详实地解读注释的基础上，广泛查阅日文原版文献资料，对作者文学源流的形成、文学风格、艺术特色、思想意义进行系统的梳理和探讨，并将重点放在对作品思想意义的解析上，力求透过语言表象，解析女性作家群体多元复杂的心理，展现女性作家的创造魅力与艺术造诣，并通过了解作者创作思想的主体特征，思考女性文学中所反映出的各类社会问题。

改革开放以来，中日两国之间的学术交流日益频繁。在这种良好的研究环境下，我国日本文学研究的成果如雨后春笋般涌现，考察研究女性文学的学术

论文也多见诸于各类报刊。然而，在对原文文本进行翔实注释的基础上，将未经删减、原汁原味的完整版日本女性文学作品呈现给读者的出版物并不多见。本书所选的五部作品均未经删减，力求使广大日本文学爱好者和学习者能够充分品味到日本女性文学的内在魅力。此外，本书立足于作品，希冀通过思考女性文学作品中所反映的各类社会问题，为高校日语系学子提供认识日本女性和日本社会的新视野，并为日本问题研究学者开辟研究日本问题的新路径。

由于编著者知识水平的局限，在编写过程中难免出现各种不足，恳请各位研究学者、读者不吝赐教。

编著者

2011年夏

CONTENTS

目 录

第一篇	樋口一葉《十三夜》解析……………	001
第二篇	岡本かの子《老妓抄》解析……………	047
第三篇	宮本百合子《夜の若葉》解析……………	103
第四篇	林芙美子《晚菊》解析……………	145
第五篇	円地文子《ひもじい月日》解析……………	189



第一篇

十三夜

じゅうさんや
十三夜

ひぐちいちよう
樋口一葉

上

いつもならお関は威勢^①のよい黒塗りの車^②で実家^③に來ると、それ、門外に車の音が止まった、娘ではないかと両親に出迎えられるはずだった。しかし、今夜は辻より飛び乗り^④の車さえ歸して^⑤、お関は悄然^⑥と格子戸^⑦の外に立っている。家より父親の相変わらずの高声。

言わばわしも福人の一人だな。いずれも大人しい子供を持って、育てるのに手はかからず^⑧と人には褒められている。分外^⑨の慾さえ渴かねば^⑩、この上望みも無し。やれやれあり難い事と物語られる^⑪。

あの相手は定めし^⑫母親。ああ、何もご存知無しにあのように喜んでお出

-
- ① 威勢：威风，威勢。
 ② 車：車，本文指人力車。
 ③ 実家：娘家，老家。
 ④ 飛び乗り：临时搭乘，飞身跃上。
 ⑤ 歸す：打发回去，使回去。
 ⑥ 悄然：孤单寂寞，无精打采。
 ⑦ 格子戸：日式格子门。
 ⑧ 手が掛かる：费事，麻烦。
 ⑨ 分外：过分，过度。
 ⑩ 渴く：渴望，欲望。“ねば”即“なければ”。
 ⑪ 物語る：讲，说。
 ⑫ 定めし：一定，想必。

で遊ばす^①物を、どの顔^{かお}を下^さげて^②離縁^{りえん}状^{じょう}^③を貰^{もら}ってくださいと言われた物
 か、叱^{ひつじょう}かられるのは必定。太郎という子もある身^み^④にて置いて駆け出^かして^⑤
 来るまでにはいろいろ思案^{しあん}^⑥もし尽^{つく}した^⑦後^{のち}だと、今更^{いまさら}にお年寄^{としよ}りを驚^{おどろ}
 かしてこれまでの喜びを水の泡^{あわ}にさせます事は辛い。いっそ^⑧話^{つら}さずに戻^{もど}ろう
 か、戻れば太郎の母と言^いわれて何時^{いつ}いつまでも原田の奥^{たの}様。ご両親^{たの}に頼^{たの}もし
 い^⑨婿^{むこ}がある身と自慢^{じまん}させ、私さえ身をつめれば^⑩時偶^{ときたま}お口^{くち}に合^あう^⑪ものやお
 小遣^{こづか}い^⑫も差しあげられる。なのに、思^{おも}うま^まま^⑬を通して離縁となれば太郎に
 は継母^{まはは}の憂^うき目^めを見^みせ^⑭、両親^{ふたおや}には今までの自慢^{じまん}の鼻^{はな}を俄^{にわ}か^⑮に低くさせまし
 て、人^{ひと}の思惑^{おもわく}^⑯、弟^{ゆきすえ}の行末^{みひと}^⑰、ああ、この身一つ^{みひとつ}^⑱の心から出^{しゅつ}世^せの真^{しん}^⑲も止め
 てしま^{つま}う、戻^{もど}ろうか、戻^{もど}ろうか、あの鬼^{おに}のような夫^{つま}の元へ戻^{もど}ろうか。あの鬼
 の、鬼^{おに}の夫^{つま}の元へ。ええいやいや、と身^みを震^{ふる}わした^⑳途端^{とたん}^㉑、よろよろ^㉒とし

-
- ① 遊ばす：“する”的敬语。
 ② 顔を下げる：以……表情，以…脸面。
 ③ 離縁状：休书，离婚书。
 ④ 身：身份，地位。
 ⑤ 駆け出す：跑出去，逃走。
 ⑥ 思案：思量，考虑。
 ⑦ 尽くす：做尽，做完。
 ⑧ いっそ：索性，干脆，倒不如。
 ⑨ 頼もしい：靠得住的，有出息的。
 ⑩ 詰める：节俭，节约。
 ⑪ 口に合う：合口味。
 ⑫ 小遣い：零用钱，零花钱。
 ⑬ 思うま：按自己的想法，随心所欲。
 ⑭ 憂き目を見る：遭受痛苦。
 ⑮ 俄か：突然，骤然。
 ⑯ 思惑：看法，议论，评价。
 ⑰ 行末：前途，将来。
 ⑱ 身一つ：自己一人，只身。
 ⑲ 真：同“心”，关键，根本。
 ⑳ 震わす：使发抖，使哆嗦。
 ㉑ 途端：正……时候，正好那时。
 ㉒ よろよろ：踉跄，摇摇晃晃。

て音を立てた^①。すると、誰だ、と父親^{てておや}の声。道行く^{こえ}悪太郎^{みちゆ}^②の悪戯^{あくたろう}と紛え^{いたずら}た^④ようだ。

外に立っていたお関はおほほと笑って、お父様私で御座んす^{とうさん}^⑤、と如何にも可愛い^い声。や、誰だ、誰だったんだと父親^ひは障子^あを引き開けて見た。

ほうお関か、何だなそんな所に立っていて、どうしてまたこの遅くに出かけて来た。車も無し^な、女中^{じょちゆう}も連れていないのか。やれやれま早く中へ這入れ、さあ這入れ。どうも不意^{ふい}に驚かされたようでまごまご^⑥するわな、格子は閉めずともいい、わしが閉める、兎も角も^と奥^{かく}が好い^⑦。ずっとお月様のさす方へ。さ、蒲団へ乗れ、蒲団へ。どうも畳^{たたみ}が汚いので、大家^{おおや}^⑧に言っではおいたが、職人^{しよくにん}^⑨の都合があると言ってな。遠慮^{えんりょ}も何もいらない。着物がたまらない^⑩からそれを敷いて^⑪くれ。やれやれ、どうしてこの遅くに出て来た。お宅^{うち}では皆お変りも無しか。

いつもと変わらなく持てはやして^⑫くれた。だけどお関は丸で針の席^{まるはりむしろ}に乗る^⑬ようになり、奥様扱かい^{あつ}^⑭は情^{なさけ}なかった^⑮。でも、じっと^⑯涙^{なみだ}を呑み込

-
- ① 音を立てる：发出声音。
 ② 道行く：路过，过路。
 ③ 悪太郎：顽童，调皮鬼。
 ④ 紛える：弄错，搞错。
 ⑤ 御座んす：“ございます”的转音。
 ⑥ まごまご：不知所措，手忙脚乱。
 ⑦ 兎も角も：无论如何，总之。
 ⑧ 大家：房东，房主。
 ⑨ 職人：工匠，手艺人。
 ⑩ 堪らない：不能忍受，难以忍受。
 ⑪ 敷く：铺上，垫上。
 ⑫ 持て囃す：奉为上宾。
 ⑬ 針の席に乗る：如坐针毡。
 ⑭ 扱い：（接尾）给予应有的对待，当……对待。
 ⑮ 情け無い：可悲可叹，令人遗憾的。
 ⑯ じっと：忍耐着，不出声地。

む^① ほかはない。

はい。誰れも時候^②の障り^③も御座いません。私は申し訳のない御無沙汰^④を
していましたが、貴君^⑤もお母様も御機嫌よくいらっしゃいますか。

いやもう、わしは噓一つないくらい。お袋^⑥は時たま、例^⑦の血の道^⑧と
いうやつを始めるが、それも蒲団をかぶって半日もいればけろけろ^⑨とする
病だから、子細^⑩は無し^⑪さ。

父は元気よくからから^⑫と笑う。亥之^⑬さんが見えませぬが今晚はどちらへ
か参りましたか、あの子^⑭も変らず勉強でござんすかと聞くと、母親はほたほ
た^⑮としてお茶を進めながら答えた。

亥之^⑯は今しがた^⑰夜学^⑱に出て行きました。あれもお前のお蔭^⑲さまで、この
間^⑳は昇給^㉑させて頂いたし、課長様^㉒が可愛^㉓がって下さるので何れぐらい心
丈夫^㉔であろう。これというのもやっぱり原田さんの縁^㉕があるからだ宅
では毎日言い暮^㉖して^㉗います。お前に如才^㉘はあるまいけれど、今後とも原田

-
- ① 呑み込む：咽下，吞下。
② 時候：时令，气候。
③ 障り：疾病，毛病。
④ お袋：母亲，妈妈。
⑤ 例の：往来的，照例的。
⑥ 血の道：妇科病。
⑦ けろけろ：若无其事，满不在乎。
⑧ 子細ない：没有问题的，没有妨碍的。
⑨ からから：拟声词，高声大笑的声音。
⑩ ほたほた：高兴，喜悦的样子。
⑪ 今し方：方才，刚才。
⑫ 昇給：提薪，增加工资。
⑬ 心丈夫：胆壮，心里有底。
⑭ 縁：缘由，因缘。
⑮ 言い暮す：整天念叨，经常挂在嘴边。
⑯ 如才：马虎，疏忽。

さんのご機嫌^{きげん}の好^いいように。亥之はあの通り口の重^{おも}い質^{たち}①だし、何れお目にかかって③も呆気ない④ご挨拶よりほかはできまいと思われるから、何分⑤ともお前が中に立って私どもの心が通じるよう、亥之の行末をもお頼み申して⑥おいておくれ。ほんに⑦変わり目⑧で陽気⑨が悪いけど太郎さんはいつも悪戯⑩をしていますか。何故今夜は連れてお出でないの。お祖父さんも恋しがって⑪お出でなされたもの⑫なのに。

そう言われてお関は又今更にうら悲しく⑬なった。

連れて来ようと思いましたが、あの子^こは宵惑い⑭でもうとうに⑮寝ましたからそのまま置いて参りました。本当に悪戯ばかり募り⑯まして聞わけ⑰は少しもない。外へ出れば後を追いますし、家にいれば私の傍^{そば}ばかり狙^{ねら}って⑱、ほんにほんに手が懸^かかって⑲なりません。何故あんなので御座いましょう。

答えながら思い出しの涙が胸の中に漲^{みなぎ}るようになった。

-
- ① 口が重い：嘴笨，寡言。
 - ② 質：性格，稟性。
 - ③ お目に掛かる：拜访，见到。
 - ④ 呆気ない：简单的，无聊的。
 - ⑤ 何分：请，拜托。
 - ⑥ 申す：（接在“お”“ご”的动词连用形及具有动作性质的体言之后，表谦逊）做，办。
 - ⑦ 本に：实在，完全。
 - ⑧ 変わり目：（季节）转变期。
 - ⑨ 陽気：季节，时令，气候。
 - ⑩ 悪戯：（幼儿语）淘气，顽皮。
 - ⑪ 恋しがる：想念，思念。
 - ⑫ もの：（形式名词）应该，理当。
 - ⑬ 心悲しい：令人伤感的，悲伤的。
 - ⑭ 宵惑い：天刚黑就犯困。
 - ⑮ 疾うに：老早，早就。
 - ⑯ 募る：激化、越来越严重。
 - ⑰ 聞分け：听话，懂事。
 - ⑱ 狙う：瞄准，以……为目标，本文指黏住母亲。
 - ⑲ 手が掛かる：费事，麻烦。

思い切って置いては来たけれど、今頃は目を覚まして母さん母さんと女中
どもを迷惑がらせ^①、煎餅^②やお菓子^③の誑し^④も利かない。皆々手を引いて^⑤
鬼に喰わす^⑥と脅してでもしよう。

ああ可哀想な事をしてしまったと声をたてても泣きなくなつたが、こんな
にも両親の機嫌よいのに言い出しかねて^⑦、煙に紛らす^⑧煙草二三服^⑨して、
空咳^⑩こんこんとして涙を襦袢^⑪の袖に隠した。

今宵は旧暦の十三夜^⑫、旧弊^⑬だけとお月見の真似事に団子^⑭を拵えて^⑮
お月様にお備え^⑯申しました。これはお前も好物^⑰だから少々なりと^⑱も亥之
助に持たせて上ようと思つていたのだけど、亥之助も何か極まりを悪がつ
て^⑲、そんな物はお止しなさいと言うし、十五夜にあげないんだから片月見^⑳
になつても悪るし、喰べさせたいと思ひながら思うばかりであげる事が出来
なかつた。なのに今夜来てくれるとは夢のようだ。ほんに心が届いた^㉑ので

① 迷惑がらせる：即“迷惑がる”的使役态，让……觉得麻烦、使……为难。

② 煎餅：日式薄脆米饼。

③ おこし：米花糖，江米糖。

④ 誑し：哄，哄骗。

⑤ 手を引く：牵着手，带着走。

⑥ 喰わす：使吃，让吃。

⑦ かねる：（接动词连用形后）难以……，不能……。

⑧ 紛らす：掩饰，蒙混过去。

⑨ 服：表示抽烟、喝茶等的次数的量词。

⑩ 空咳：干咳，故意咳嗽。

⑪ 襦袢：衬衫，和服衬衣的一种。

⑫ 十三夜：阴历每月十三日或九月十三日的夜晚，本文指后者。

⑬ 旧弊：旧俗，因循守旧。

⑭ いいし：女子用语，指代丸子、米粉团。

⑮ 拵える：做，制造。

⑯ 備える：同“供える”，供，献。

⑰ 好物：爱吃的东西，嗜好的东西。

⑱ なりと：哪怕……也好，表最低限度。

⑲ 極まりが悪い：难为情，不体面。

⑳ 片月見：日本民俗中八月十五夜、九月十三夜中单独一天赏月为古时忌讳。

㉑ 心が届く：心情、想法等传达给对方。

あろう。自宅^{うち}では甘い物^{うま}はいくらも喰べよう^①けど、親^{こしら}の拵^{べつもの}えた物は又別物^②。
 奥様^げ気^③を取り捨てて^④、今夜は昔のお関^{みえ}になって、見栄^{かま}を構^{まめ}わず豆^{くり}なり栗
 なり気に入った物を喰べて見せておくれ。いつでも父様^{ととさん}と噂^{うわさ}すること。出
 世^{そうい}は出世^{そうい}に相違なく、人の見る目も立派^{くらい}なほど、お位^{かたがた}のよい方々や身分
 のある奥様がたとのお交際^{つきあい}もして、ともかくも原田の妻と名乗^なって通るには
 気骨^{きぼね}の折れる^⑦事^{こと}もあろう。女中^{おんな}どもの使^でいよう^⑧出入^いり^⑨の者^{もの}の行^ゆき渡^{わた}り^⑩、
 人の上に立つ者^{ひと}にはそれだけに苦勞^{さとかた}が多い。里方^{みがら}^⑪がこんな身柄^{なみ}^⑫では尚更
 の事。人に侮^{あなど}られないよう心掛^{こころが}け^⑬もしなければなるまい、それをさまざ
 まに思ってみると父^{とと}さんも私も孫^{うるさ}なり子^こなりの顔^{おも}が見たいのはあたりまえだ
 けど、あんまり煩^{うるさ}く出入^いり^⑨をしてはと控^{もん}えられて、ほんにお門^{もん}の前^{まえ}を通る
 事^{こと}はありとも、木綿^{もめん}着^き物^{もの}に毛繻^{けじゆす}子^す^⑭の洋傘^{こうもり}^⑮をさした時には見^みす見^みす^⑯お二階
 の簾^{すだれ}を見ながら、ああお関^{おも}は何^{なに}をしている事^{こと}かと思^{おも}いやる^⑰ばかりで行^ゆき
 過ぎてしまいます。実家^{じっか}でも少し何^{なに}とかなっていたら、お前^{かたみ}の肩身^{かたみ}も広^{ひろ}かる

① よう：（助动词）表示推量、想象的意思。

② 別物：特殊的东西，不同的东西。

③ 気：（接名词后）表示样子。

④ 取り捨てる：去掉，去除。

⑤ 見栄：虚荣，面子。

⑥ 位：地位，职位。

⑦ 気骨が折れる：操心，劳心费力。

⑧ 様：（结尾词）方法。

⑨ 出入り：进出，常来常往。

⑩ 行き渡り：拜访，来往。

⑪ 里方：娘家，娘家人。

⑫ 身柄：身份，地位。

⑬ 心掛ける：用心，留心。

⑭ 毛繻子：棉缎，棉毛呢。

⑮ 洋傘：“蝙蝠傘”的略语，晴雨两用伞。

⑯ 見す見す：眼睁睁，眼看着。

⑰ 思いやる：想象，推测。

う^①し、同じくでも少しは息の付けよう^②にもなる。何を云うにも此通り、お月見の団子をあげようにも重箱^③からしてお恥かしいでは無かろうか。ほんにお前の心遣いが思われると嬉しい中にも、思うままの通路が叶わねば、愚痴のトつかみ^④賤しい身分を情なげ^⑤に言われてしまう。

本当に私は親不孝^⑥だと思います。それはなるほど柔らかい衣服をきて手車^⑦に乗り歩く時は立派らしくも見えましようけど、父様や母様にこうして上ようと思う事も出来ず、いわば自分の皮一重^⑧、いっそ賃仕事^⑨しても、お傍で暮した方がよっぽど快ようございます。

馬鹿、馬鹿、そんな事を仮にも言ってはならない、嫁に行った身が実家^⑩の親の貢^⑪をするなどと思ひも寄らない^⑫事。

家にいる時は斉藤の娘、嫁入っては原田の奥方ではないか。勇さんの気に入るようにして家の内を納めて^⑬さえ行けば、何の子細は無い。骨が折れるからと言っても、それだけの運のある身ならば堪えられない事はないはず。女などという者はどうも愚痴が多い。お袋などがつまらない事を言い出すから困り切る^⑭。いやどうも団子を食べさせる事が出来ないからと言って一日

-
- ① 肩身が広い：有面子。
 ② 息をつく：缓口气，松口气。
 ③ 重箱：漆器食盒。
 ④ 一掴み：少量，一点。
 ⑤ 情け無げ：无情的，无同情心的。
 ⑥ 親不孝：不孝，不孝顺父母。
 ⑦ 手車：自家用的人力车。
 ⑧ 皮一重：仅外表不同，实质没有变化。
 ⑨ 賃仕事：家庭副业，家庭手工活。
 ⑩ 実家：即“里”，娘家。
 ⑪ 貢：供养，赠送钱物。
 ⑫ 思ひも寄らない：没想过，不能想象。
 ⑬ 納める：收拾，整理好，打理好。
 ⑭ 困り切る：极其为难，束手无策。